

教職員の研修

1 児童理解（実態把握）

（1）観察

児童の実態を捉えるために、各学年毎に関係している教職員で、児童の優れている面と不十分だと思われる面を付箋に書き、K J法でまとめた。それらをもとに行動・対人関係・生活習慣・学習の項目にまとめたものが表1（第1学年）である。

表1（第1学年）

平成23年度（9月→3月）

	優れている面	不十分な面
行 動	・学校生活を楽しんでいる。 ・少し落ち着いてきた。 ・周りに合わせることができる。 ・一部の子は積極的である。	・積極的でない。 ・流されやすく、自分で考えない。
	・落ち着いてきた ・学校生活を楽しんでいる。 ・周りに合わせることができる。 ・一部の子は積極的である。	・一部落ち着きがない子が見られる ・消極的な子がいる。 ・人まかせのところがある。 ・流されやすく、自分で考えない。
対 人 関 係	・トラブルが減ってきた。 ・仲直りができる。 ・後に引きづらない。 ・けんかが少ない。	・コミュニケーションをとりづらい子がいる。 ・その場で「ごめん」が言えない。
	・仲良く遊んだり生活したりできるようになった。 ・仲直りができる。 ・後に引きづらない。 ・けんかが少ない。	・失敗を素直に認められない。 ・コミュニケーションをとりづらい子がいる。
生 活 習 慣	・よく遊び、よく食べる。	・早寝早起きができない子がいる。 ・挨拶が進んでできない。
	・挨拶がよくできるようになった。 ・よく遊び、よく食べる。	・早寝早起きができない子がいる。
学 習	・発表できる子が増えてきた。 ・姿勢がよくなってきた。	・人の話が聞けない。 ・聞いた内容が理解できない。
	・意欲的になってきた。 ・発表できる子が増えてきた。 ・姿勢がよくなってきた。	・学力は全体的に低い。 ・聞いた内容が理解できない。

(2) アンケート作成・検討 (主題研究部)

多面的に児童の実態を捉えるために、教職員による観察の他にアンケート調査も実施した。実施にあたり、主題研究部を中心にアンケートの作成を行った。アンケートは「学校での生活や学習意欲や態度に関すること」「自尊感情にかかわること」「人とのかかわりに関すること」から構成されている。これらは、本校の研究の3つの柱に基づくものである。

2 研究の柱を決める

児童観察とアンケートの実態調査をもとに、全教職員で話し合い、本校の重要課題として、「主体的に学ぼうとする児童を育てる」「人とのかかわりの中で自尊感情を高める」「なんでも話し合えるような仲間づくり」を研究の3本柱と決め、取組を進めた。

3 研究の実際

(1) 主体的に学ぶ授業づくりにあたって

① 先進校視察

ア 松原三中校区三校合同研究会から学ぶ【平成24年(2012年)2月16日】

松原三中校区では幼稚園・小学校・中学校の連携のもと、11年間をとおした人権教育に取り組んでいる。人権教育を基盤とし、確かな学力の向上において成果をあげている布施小学校の取組から学ぶところは多かった。本校から研究会の参加者は3名と少なかったため、参加報告をして全体研修とした。

(ア) 参加報告から一部抜粋

- ほっと・ワークス(人間関係スキル学習)の授業を日常の集団づくりとリンクさせるための手立てが授業の中にあった。例えば、生活の中であったことを事例として取り上げたり、使ってみたい声かけの演習をしたりすることである。
- 役割演技で学習課題が明確になった。
- ペア学習・グループ学習で学び合いがあった。

単元名 「自分の気持ちを伝えよう!・友達の気持ちを聞こう!」

学習の流れと学習形態

(全体) 課題把握 「あなたならどんな声かけをしますか。」

(個人) 声かけを考える

(グループ) 自分の考えを発表

(個人) 友達の考えを聞いていいなと思ったことを自分の意見につけたす。

(全体) 意見の交流

(ペア) 発表された意見の中から、自分がいいと思う意見を選び、声かけの演習をする。

(全体) 使ってみたい声かけをする。

(全体) まとめ

平成23・24年度文部科学省人権教育研究指定校【海陽町立海南小学校】

- 研究会では、「学習課題は児童の発達段階にあっているか」などの討議の柱に沿ってそれぞれの立場から意見が出されたので、深まりのある話し合いであった。

イ 静岡市立安東小学校から学ぶ 【平成24年（2012年）7月13日】

安東小学校は、昭和40年から「ひとりひとりを生かす授業研究」をテーマに途絶えることなく実践を続けている先進校である。7月13日、1学年から第6学年まで、座席表を使った指導案を作成した授業を公開していただき、貴重な授業参観をすることができた。本校の人権教育の重点実践目標は、「主体的な学びに焦点をあて、個に深く寄り添った人権教育の推進」である。この目標に迫るためにも、安東小学校で参観した授業は、学ぶところが多かった。

(ア) 研究授業をふり返って《出された意見・感想から一部抜粋》

- 楽しい授業であった。発表のスタイルは1年生から身についてきたもので、語彙が豊かである。根拠をつけて発表していた。発表していない児童もノートに書き込むなどそれぞれが授業に参加している。
- 前時の児童の意見や感想をつかみ、座席表を活用した授業の組み立てをしていた。最終板書が座席表に使えと思った。
- 学習の過程が掲示されており、それを使って意見が出ていた。
- 身の回りに情報になるものが揃えられており、資料との出合わせ方も考えられていた。
- 互いの顔が見える机の配置だった。
- 児童は学習の進め方がわかり、主体的な学び合いがあった。役割演技が効果的に取り入れられていた。一人ひとりを理解し、個に寄り添った意図的な指名をしていた。

② 教材研究（個人研修）

体験・交流・聞き取りなどをおして、授業者なりの教材の魅力や価値の位置づけをし、その教材から何ができるのか、どんな力がつけられるのかを探る。

ア 絵本作家の梅田さんの話を聞く

絵本作家の梅田俊作さんは、美波町に在住されている。絵本「かえしてよ、ぼくのぼうし」（梅田俊作 作・絵）を使って人権学習に取り組むにあたり、この絵本ができた背景を聞かせていただく機会をもつことができた。「いじめ」のことや地域の中での学校の存在についてなど、ご自身の経験をもとに話をしてくださった。たくさんのお話の中で、「子どもは大人以上に判断力がある。」「1時間の授業で答を出さなくても、子どもたちが生活していく中で、『あの時の授業はこういうことだったんだな。』と思える授業にしてください。」とおっしゃったことが心に残っている。また、「あなたは、子どもや保護者に対して本気で向き合っていますか。」と投げかけられた気がして背筋が伸びた。

イ デイサービスセンターでの職場体験研修

3年生は、地域にあるデイサービスセンターで高齢者の方と交流をしている。交流にあたり、デイサービスセンターでどのように高齢者の方が過ごされているのか、また、職員がどのように高齢者の方と接しているのかを事前に知り、児童の交流に生かしたいと思い、職場体験研修をさせていただいた。一緒にゲームをしたり歌を歌ったりして楽しい時間を過ごさせてもらった。この時間をともに過ごしたことで、高齢者の方や職員の方と少しでもつながりができたのではないかなと思う。

ウ 地域協同作業所について話を聞く

校区内には、地域共同作業所がある。できてからおよそ10年になるそうだ。2学期に総合的な学習の時間に、心のバリアフリーをさらに広げるために、作業所との交流をさせていただくことを考えた。毎年12月初旬に行われている作業所のお祭りに参加した児童はいるものの、作業所について知らない児童も多数いる。様々なちがいを認め合い、支え合って共に生きる社会を実現するためには、まず、知ることが大切である。同じ地域に生きる自分に何ができるかを考えさせたいと思っている。事前に作業所を訪問し、作業の様子を見せていただいたり代表の方と交流のしかたについて話をさせていただいた。

エ 識字学級について話を聞く

6年生人権学習「しきじがんばろな」のゲストティーチャーを依頼した阿南市社会教育指導員の先生と、打ち合わせのためにお話を伺う機会があった。一言一言に重みがあり、エネルギーあふれる言葉から元気をもらい、たくさんのことを学ばせていただいた。

「指導案とおりにいかななくてもいい。子どもたちに『心の変容』があれば成功！」
「わたしは目が片方見えないことでいじめを受けてきた。今は、癌と闘っている。心から親に『産んでくれてありがとう。』と言いたい。子どもたちもそう思えることが将来への展望となる。」「識字学級で学ぶ人達の生き方そのものを子どもたちは感じ取るはず。」「わたしにとって今度の子どもたちの出会いは、最初で最後の出会い。」「・・・常に先生から学んだことを心に刻んで実践していきたいと思ってきた。

③ 授業づくりへの手だて

ア 言語活動の充実

児童の実態調査を見ると不十分な面として、全学年で「コミュニケーション力」があげられていた。コミュニケーションの基盤は言語である。また、言語は、論理的な思考や感性・情緒の基盤であるとされている。そこで、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」のそれぞれにおいて、本校の児童の実態から見た「つけたい言語能力」としてまとめ（表2）、授業づくりに取り組んでいる。

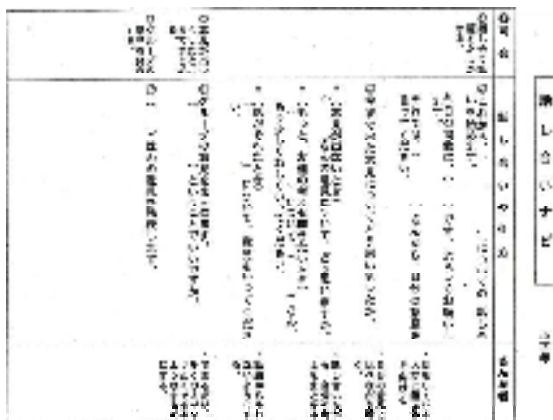
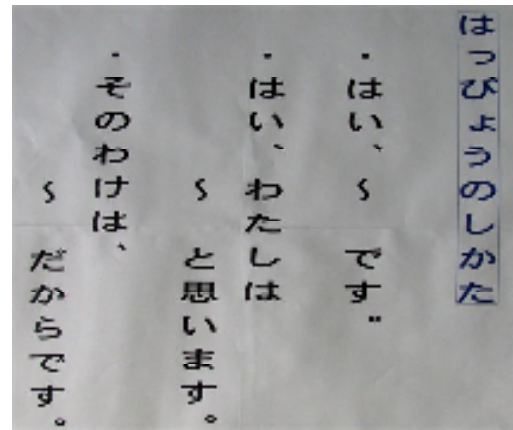
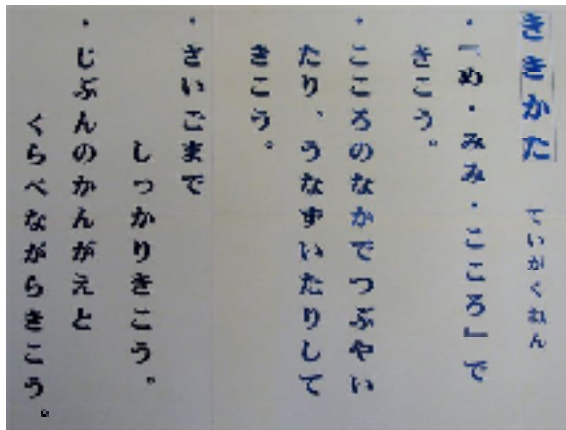
平成23・24年度文部科学省人権教育研究指定校【海陽町立海南小学校】

a つけたい言語能力作成

表2

	話すこと	聞くこと	書くこと	読むこと
低学年	- 適切な声の大きさではきはきと話す。 - 考えを理由をつけて話す。 - 丁寧な話し方で話す。 ◎聞き手を意識して、はきはきと話す。	- 静かに聞く。 - 最後まで聞く。 - よい姿勢で聞く。 - 話す人の方を向いてく。 - 自分の意見が言えるようにきちんと聞く。 - イメージを持ちながら聞く。 ◎大事なことを聞き漏らさない。	- 鉛筆の持ち方に気をつけて書く。 - はらい、とめ、はねなどを正しく書く。 - 主語・述語がわかり、したことを順序よく表す。 - 自分の思いを文に書く。 - 句読点、「」などを使い文を書く。 ◎よい姿勢で、文字を正しく丁寧に書く。	- 読むことを好きになる。 - 句読点を意識しながら、正しく読む。 - 内容のだいたいを読み取る。 - 文章構成や書き方のちがいがわかる。 ◎言葉を意識しながら、正しく読む。
中学年	- 理由をつけて話す。 - 最後まで話す。 - 主語をつけて話す。 ◎わかりやすく、相手に伝える。	- 聞くことに集中する。 - 一行分の書き取り。 ◎目と耳と心を話し手の方に向けて聞く。	- 誰が見ても読める字を書く。 - 目的や相手を考えて筋の通った文章を書く。 ◎ひらがなやかたかなを正しく書き、文に表す。	- 句読点に気をつけて読む。 - 暗記して話したり読んだりする。 ◎大きな声ではきはきと読む。 ◎正確に音読する。
高学年	- 主語・述語を使い、丁寧な言葉で話す。 - 自分の思いや考えを話す。 - 時や場に合った声の大きさやスピードで話す。 - 理由をつけて発言する。 - 友達の発言を受けて話す。 ◎自分の意見を持ち、進んで考えを発表する。	- メモを取りながら聞く。 - 要点を捉えながら聞く。 ◎話す人の方を見て、最後まで聞く。	- 原稿用紙等の書き方がわかる。 - 一定のスピードで丁寧に書く。 - 自分の考えや思いを決められた時間（10分）で350字程度書く。 - 主語と述語が対応したわかりやすい文を書く。 - 筋道を立てて書く。 - 豊かな表現を使って書く。 ◎丁寧に、工夫してわかりやすく、ノートにまとめる。	- つまらずに読む。 - 文書の要旨をつかみ、自分なりの意見をもつ。 - 文章中の人物の気持ちを意識して、情景や人物の気持ちを読み取る。 - 読書環境を整える。 ◎読書のジャンルを広げ、進んで読む。

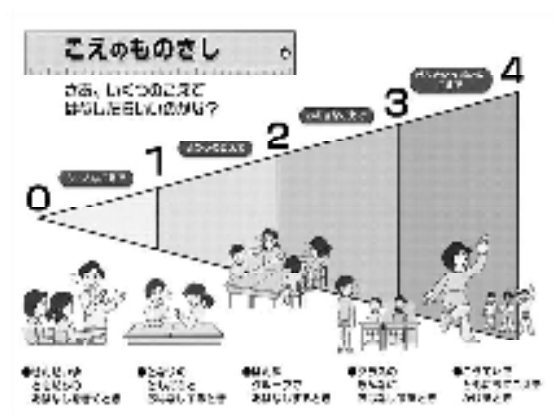
ｂ 「聞き方・話し方・声のものさし」の教室掲示物と話し合いナビの作成



【話し合いナビ】



【話し合いナビを使つての学習_1】



【こえのものさし】



【話し合いナビを使つての学習_2】

イ 児童の実態に応じた指導の工夫（「カルテ」「座席表」の活用）

本校は、先に述べた安東小学校の取組を参考にし研究を進めてきた。安東小学校は、

①教材研究（学習指導要領や教科等の特性などをもとに授業者なりの解釈を行う）をする。

②カルテ（子どもに教師の予測と違ったものを発見した時に、簡潔にメモしたものに解釈を加えたもの）をとる。

平成23・24年度文部科学省人権教育研究指定校【海陽町立海南小学校】

- ③座席表（学級全員分のとらえ・手だて・願いを書いたもの）をかく。
- ④目標に位置づける（数人の子どもたちそれぞれに、その授業で期待される変化を明らかにする）。
- ⑤全体のけしき（今日の授業のための数時間分の作戦図）をえがく。
- ⑥座席表授業案（授業者が授業を行うためと参観者に知らせたい情報を含んだ 本時案）をつくる。
- という過程をとおして授業づくりをしている。本校では、1学期に全学級において、「カルテ」をとり、座席表を使った授業づくりに取り組んだ。研究が始まったばかりである。めざす方向を見失わないように研鑽していきたい。

（ア）座席表（表3）作成

単元の主題に関する一人ひとりの思いや考え方を「カルテ」やアンケートにより捉えたものを、座席表に記入した。

表 3

命の誕生に出会った経験の		身近な人とのお別れの経験の有		5年2組																																																																																																																																																	
<table border="1"> <tr> <td>氏名</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">凧ちゃんがひいおじいちゃんへ宛てた手紙を書いてみよう。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">身近でお別れをした人(生き物)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・お別れした時の思い ・今の自分やこれからの自分等</td> </tr> </table>		氏名	○	○		凧ちゃんがひいおじいちゃんへ宛てた手紙を書いてみよう。				身近でお別れをした人(生き物)				・お別れした時の思い ・今の自分やこれからの自分等																																																																																																																																							
氏名	○	○																																																																																																																																																			
凧ちゃんがひいおじいちゃんへ宛てた手紙を書いてみよう。																																																																																																																																																					
身近でお別れをした人(生き物)																																																																																																																																																					
・お別れした時の思い ・今の自分やこれからの自分等																																																																																																																																																					
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">最後まで松の木といっしょにいたかったんだね。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">犬</td> </tr> <tr> <td colspan="4">もっと遊びたかった。毎日しっかりと生きていく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">明るく、活発で元気な自分にもどります。わたしを見守っていてね。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">ひいおばあちゃん</td> </tr> <tr> <td colspan="4">もうすでに寝込んでいた。元気に明るく生きる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">天国に行くと信じています。松の木は私が育てます。わたしが天国へ行ったら習字を書きましょう。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">おじさん</td> </tr> <tr> <td colspan="4">悲しい。スポーツをがんばる。勉強に努力する。</td> </tr> </table>			×	×		最後まで松の木といっしょにいたかったんだね。				犬				もっと遊びたかった。毎日しっかりと生きていく。					×	○		明るく、活発で元気な自分にもどります。わたしを見守っていてね。				ひいおばあちゃん				もうすでに寝込んでいた。元気に明るく生きる。					×	○		天国に行くと信じています。松の木は私が育てます。わたしが天国へ行ったら習字を書きましょう。				おじさん				悲しい。スポーツをがんばる。勉強に努力する。				<table border="1"> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>生き返る</td> </tr> <tr> <td colspan="4">ひいおじいちゃんが大切に育てていた松の木のそばで死んだのはかわいそうだよ。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">ひいおばあちゃん(5月)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">かわいそう。90歳までは生きたい。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">わたしも、天国にいるおじいちゃんをいつも見守っているから安心してください。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ちふみちゃん</td> <td colspan="2">ひいおばあちゃん</td> </tr> <tr> <td colspan="2">よく遊んだ</td> <td colspan="2">よくおかしを買ってくれた</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">ひいおじいちゃんのことを絶対に忘れません。天国へ行っても私たちを見守っていてください。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">おじさん</td> </tr> <tr> <td colspan="4">何で亡くなるんだよう。病気をせず、明るく元気に生きる。</td> </tr> </table>			○	○	生き返る	ひいおじいちゃんが大切に育てていた松の木のそばで死んだのはかわいそうだよ。				ひいおばあちゃん(5月)				かわいそう。90歳までは生きたい。					○	○		わたしも、天国にいるおじいちゃんをいつも見守っているから安心してください。				ちふみちゃん		ひいおばあちゃん		よく遊んだ		よくおかしを買ってくれた			○	○		ひいおじいちゃんのことを絶対に忘れません。天国へ行っても私たちを見守っていてください。				おじさん				何で亡くなるんだよう。病気をせず、明るく元気に生きる。				<table border="1"> <tr> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">ひいおじいちゃん、わたしを天国から応援していてね。わたしはがんばるからね。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">おじいちゃん</td> </tr> <tr> <td colspan="4">さびしかった。おじいちゃんの分まで生きたい。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">2学期に入って、友達がたくさんできました。ひいおじいちゃんが応援してくれたからだと思います。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">ねこ</td> </tr> <tr> <td colspan="4">ひろった。長生きする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">私は今でも悲しいです。けれど、おじいちゃん私のそばにいてと言いつけながら過ごしています。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">おばあちゃん</td> <td colspan="2">おじさん</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今までありがとう。見守ってくれていると思いき生きていく。</td> <td colspan="2">おばあちゃんと天国にいてね。</td> </tr> </table>			×	○		ひいおじいちゃん、わたしを天国から応援していてね。わたしはがんばるからね。				おじいちゃん				さびしかった。おじいちゃんの分まで生きたい。					○	○		2学期に入って、友達がたくさんできました。ひいおじいちゃんが応援してくれたからだと思います。				ねこ				ひろった。長生きする。					○	○		私は今でも悲しいです。けれど、おじいちゃん私のそばにいてと言いつけながら過ごしています。				おばあちゃん		おじさん		今までありがとう。見守ってくれていると思いき生きていく。		おばあちゃんと天国にいてね。	
	×	×																																																																																																																																																			
最後まで松の木といっしょにいたかったんだね。																																																																																																																																																					
犬																																																																																																																																																					
もっと遊びたかった。毎日しっかりと生きていく。																																																																																																																																																					
	×	○																																																																																																																																																			
明るく、活発で元気な自分にもどります。わたしを見守っていてね。																																																																																																																																																					
ひいおばあちゃん																																																																																																																																																					
もうすでに寝込んでいた。元気に明るく生きる。																																																																																																																																																					
	×	○																																																																																																																																																			
天国に行くと信じています。松の木は私が育てます。わたしが天国へ行ったら習字を書きましょう。																																																																																																																																																					
おじさん																																																																																																																																																					
悲しい。スポーツをがんばる。勉強に努力する。																																																																																																																																																					
	○	○	生き返る																																																																																																																																																		
ひいおじいちゃんが大切に育てていた松の木のそばで死んだのはかわいそうだよ。																																																																																																																																																					
ひいおばあちゃん(5月)																																																																																																																																																					
かわいそう。90歳までは生きたい。																																																																																																																																																					
	○	○																																																																																																																																																			
わたしも、天国にいるおじいちゃんをいつも見守っているから安心してください。																																																																																																																																																					
ちふみちゃん		ひいおばあちゃん																																																																																																																																																			
よく遊んだ		よくおかしを買ってくれた																																																																																																																																																			
	○	○																																																																																																																																																			
ひいおじいちゃんのことを絶対に忘れません。天国へ行っても私たちを見守っていてください。																																																																																																																																																					
おじさん																																																																																																																																																					
何で亡くなるんだよう。病気をせず、明るく元気に生きる。																																																																																																																																																					
	×	○																																																																																																																																																			
ひいおじいちゃん、わたしを天国から応援していてね。わたしはがんばるからね。																																																																																																																																																					
おじいちゃん																																																																																																																																																					
さびしかった。おじいちゃんの分まで生きたい。																																																																																																																																																					
	○	○																																																																																																																																																			
2学期に入って、友達がたくさんできました。ひいおじいちゃんが応援してくれたからだと思います。																																																																																																																																																					
ねこ																																																																																																																																																					
ひろった。長生きする。																																																																																																																																																					
	○	○																																																																																																																																																			
私は今でも悲しいです。けれど、おじいちゃん私のそばにいてと言いつけながら過ごしています。																																																																																																																																																					
おばあちゃん		おじさん																																																																																																																																																			
今までありがとう。見守ってくれていると思いき生きていく。		おばあちゃんと天国にいてね。																																																																																																																																																			
				前																																																																																																																																																	

(イ) 座席表を活用して《出された意見・感想から一部抜粋》

座席表は活用できたか。	
◎よくできた	: 2
◎できた	: 7
◎あまりできなかった	: 6
◎できなかった	

- 発表してほしい児童に指名することができた。
- 事前に児童の考えや実態を把握していたことで意図的に指名ができた。
- 机間指導の時、座席表をもとに助言できた。
- 指導案や指導の流れをつくる時にカルテや座席表（アンケート）が有効であった。
- ほとんどの先生が座席表の重要性を意識できていた。
- 参観者によくわかった。
- 研究授業が進むにつれ座席表の活用状況がはっきり見えてきた。
- △座席表から発言を取り上げる余裕がなかった。
- △情報が多すぎて頭の中で整理できにくかった。
- △座席表で児童の考えを把握し指名しようと思っていたができなかった。
- △座席表に記入した児童の実態にそった授業展開ができなかった。



【研究授業の様子__1】



【研究授業の様子__2】

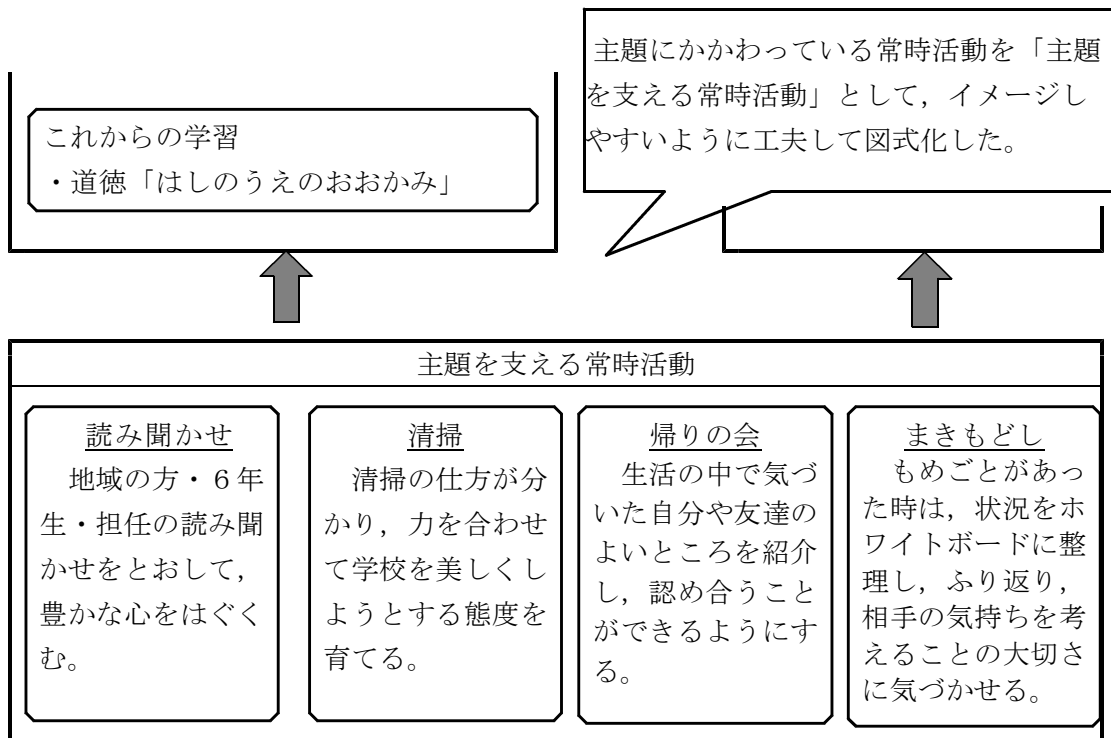
(ウ) 指導案の作成

授業研究部では指導案の形式について、研修の機会をもち検討してきた。基本的には、県教委の人権教育課が提示している形式をもとにした。指導計画については、松茂小学校の形式を参考にして、本校独自の形式を作成した。研究授業の前には、全体研修の形で指導案の検討会を行った。全員が検討会に参加することで、授業者から授業づくりについての思いや考えを聞き、話し合うことができるので、授業参観や研究協議会での話合いの視点がより明確になると考えた。

a 授業研究の視点を入れる

道徳（人権）学習指導案	
第6学年	〇〇名
指導者	〇〇〇〇〇
1 主題名 差別の中でたくましく生きた人々	
2 本単元で取り組む柱 主体的に学ぼうとする児童を育成する。	
3 主題設定の理由 本学級の児童は、明るく活発で、友達とやかである。小さなトラブルは時々起こす。少規模校から急に大勢の中に入った児童は、当初とても緊張して心細かったようである。休み時間をどう過ごしていいかわからずうろろうろする子も見られた。しかし、活	2011年度は、研究の焦点化を図るために、研究の3本柱を指導案に書くことにした。
り、分からないことを教え合ったりしているうちに新しい友達ができ、休み時間も楽	

b 指導計画作成の工夫



平成23・24年度文部科学省人権教育研究指定校【海陽町立海南小学校】

(2) 授業のふり返り

① 授業チェックシート活用

人権の視点から作られた自己点検表は、授業後の評価だけではなく、授業づくりの指標となっている。研究授業では、参観者が授業等の評価をすることで、授業力の向上を図っている。

授業チェックシート			
7月5日(木) 5校時 1年組 授業者()			
4 とてもそう思う 3 そう思う 2 少しそう思う 1 そう思わない			
	項 目	チェック	備考
発問	① わかりやすい発問・指示をしている。	④ 3 2 1	
	② 子どもの発言内容を授業に生かしている。	④ 3 2 1	
	③ 子どもが聞こうとする状態にして、発問・指示をしている。	④ 3 2 1	
板書	④ 板書の文字の大きさや色・量が適切である。	④ 3 2 1	
教材教具	⑤ 視覚・聴覚的な教材・教具を効果的に使用している。	4 ③ 2 1	
環境	⑥ 教室掲示が適切であり整備されている。	4 ③ 2 1	
態度	⑦ 声の大きさや話す速さが適切である。	④ 3 2 1	
	⑧ 顔の表情や立つ位置を工夫して話している。	④ 3 2 1	
	⑨ 子どもの表情から理解度を確認しながら話している。	④ 3 2 1	
	⑩ 子どもの発言を承認したり励ましたりできている。	④ 3 2 1	
対応・支援	⑪ 子どもに基本的な学習習慣を身につけさせている。	姿勢	4 ③ 2 1
		声の大きさ・発表態度	4 ③ 2 1
		聴く態度(見る・うなづく)	4 ③ 2 1
	⑫ 子どもが誤答や失敗を恐れず、のびのびと学ぶ雰囲気をつくっている。	④ 3 2 1	
	⑬ 全員が授業に参加している。	4 ③ 2 1	5校時は、 差が大きいようにも
時間	⑭ 子どもが授業に集中している。	④ 3 2 1	
	⑮ 授業の開始・終了時刻を厳守している。	4 ③ 2 1	
	⑯ 子どもが考える時間をきちんと確保している。	④ 3 2 1	
子どもの活動	⑰ 子どもに主体的な活動の時間をとっている。	4 3 2 1	
	⑱ 子どもがお互いに協力・助け合いをしている。	4 ③ 2 1	
	⑲ 進んで発表したり活発な話し合いをしたりして意欲的に活動している。	④ 3 2 1	
	⑳ 子どもが学習課題を理解している。	4 3 ② 1	自分たちができること、 少し大それたこと

【授業チェックシート】

② 授業研究会

平成23年度・24年度は、授業力を高めるために、すべての学級で研究授業を実施し、講師を招いて研究会をもった。授業研究の視点「本主題で取り組む研究の3本柱」を学習指導案に入れることで、授業研究会での討議の柱が明確になり、話し合いに深まりが見られるようになってきた。研究会では、グループでの討議を取り入れた。授業チェックシートを使ってグループで話し合うことを決め、それに沿って話し合った後、各グループの代表が発表し、全体で意見交換をする形態や、授業参観後、各自が気づいたことを付箋に記入し、指導案（導入・展開・まとめ）に沿ってKJ法でまとめ、できた項目についてグループで話し合う形態は、話し合いが活発になり、より多くの人の意見を引き出すことができた。また、授業参観や授業研究会には、海陽幼稚園・海陽中学校の教職員や海部郡内の人権教育主事の参加があり、幼・小・中・郡内の各小学校が連携して人権教育を進めることができた。



【授業研究会__1】



【授業研究会__2】

③ 研究授業をとおして感じたこと。《出された意見・感想から一部抜粋》

- ・学習課題の重要性がわかった。
- ・まだまだ、授業の進め方や座席表の活用の仕方が勉強不足であった。
- ・「命」の学習は生活経験や各教科等とのかかわりの中で涵養していくものだと感じている。
- ・指導計画や授業の組み立てに悩んだ。教師が一生懸命考えて授業することで子どもに何か伝わるものがあると感じた。
- ・計画的に取り組めて楽しかった。これからもがんばりたい。
- ・特別支援在籍児童の中には一緒に授業に参加することが困難な子がいる。その子への配慮を考える必要がある。
- ・主体的に活動させる場面が少なかった。
- ・授業は良かったが主題に迫れていたか。
- ・全学級が研究授業をしたのがよい。みんなが同じ方向を向けた。
- ・授業力が向上してきた。
- ・主題に迫る論議がまだ十分でない。
- ・全体の授業に対する見方が深まり、質の高い授業研究会ができた。

4 研修をとおして

平成23年度・24年は、児童理解と授業研究を中心にして、研究テーマに迫れるように研修を進めてきた。しかし、授業時数等の関係で研修時間の確保が難しいこともあり、系統立てて計画的に研修を実施しなければ、一人ひとりの児童に返せる実のある研修にならないと実感した。また、学年団で取り組んでいる教材研究などは、全教職員で共有することで、次年度への取組につながっていくであろう。各学年を受け持つ指導者が替わっても研究したことが積み重なっていくような研修にしていきたい。